

本願寺新報

hongwanji journal

1月1日(月曜日)

毎月1日・10日・20日発行

発行所 本願寺新報社
京都市下京区堀川通花屋町下ル 浄土真宗本願寺派(西本願寺)
〒600-8501 本願寺出版社内
電話 075(371)4171(代) / FAX075(341)7753

新年特集号

今号の紙面(14ページ)

5面 ご門主「年頭の辞」
新春の大谷家

6・7面 立教開宗800年特集
親鸞聖人が書かれた
●はじめて学ぶ『教行信証』
●御影から読み解く親鸞聖人画像

8・9面 ご本山にお参りを
御正忌報恩講の風景
お斎(精進料理)にスポット

書き初めて味わう
仏教用語 11面
ナゾ解き Quiz 14面
読者のひろば 13面

「道徳はいくつになるぞ。道徳、念仏申さるべし」(註釈版聖典1231巻)。お正月になると、例年のように聞かせていただく蓮如上人のお言葉である。お弟子の道徳が正月1日に挨拶に来た時、蓮如上人は「お念仏を申せよ」と声をかけられたという。「明けましてナモアミダブツ」ということだろう。

▼この南無阿弥陀仏のお念仏は「易行」、すなわち易しい行といわれる。仏道修行の難行・善行に比べると、確かにやさしい行為だといえる。ところが、「ナモアミダブツと称えてごらん!」と誰かから言われても、実際にはなかなかお念仏の声は出てこない。住職として、法事の席などで参拝者にお念仏を呼びかけるのだが、あまり聞かえてこないこともしばしば体験するからだ。

▼そんなことを考えると、自分で「ナンマンダブ、ナンマンダブ」と称えているつもりでいるのだが、本当は阿弥陀さまの救いのほたらきによって称えさせていたでいる、ということが明らかとなる。お念仏は「易行」ではあるが、「難信」の法、すなわち、なるほどと信じるのが難しいお念仏なのだ。そんな難信のみ教えを聞いて喜び、今、この身から「ナンマンダブ、ナンマンダブ」とお念仏がこぼれるのは、この私が阿弥陀さまの救いのただ中にあることの、まさに証なのだ。

▼2024年、新しい年のスタートを迎えた。みなさん「念仏申さるべし」。

福岡支局 〒812-0002 福岡市博多区空港前3-9-16 善教寺内
電話 092(621)5163/FAX092(621)9400
購読料 1部120円(年間4,080円) 定期休刊 7月10日、12月10日
浄土真宗本願寺派 代表電話
宗務所 075(371)5181 / 大谷本願 075(531)4171

宗派公式Webサイト <https://www.hongwanji.or.jp>
本願寺ホームページ <https://www.hongwanji.kyoto>

新しい年をどのようにお迎えでしょうか。今年は浄土真宗から始めてみませんか。宗教学者で大阪の相愛大学学長の釈徹宗さんのエッセー「真宗門徒のお正月」をはじめ、2、3面では「浄土真宗の法語とともに1年を」と、人生を支える法語を紹介していきます。お念仏とともにこの1年をスタートしませんか。

年の初めは浄土真宗から

1年をお念仏とともに



新春エッセー 真宗門徒のお正月

日本の宗教文化におけるお正月の行事はなかなかバリエーション豊富です。各地方の相違点も多く、経年の変化も大きいからです。私は大学に教員として勤めているのですが、しばしば年明けの最初の授業で、「学生の皆さん、このお正月はどのように過ごしましたか」「みなさんの自宅ではお雑煮を食べますか?」「お雑煮にお餅はありますか?」などと尋ねます。聞いてみると、お正月料理の食文化も興味深いところが数多くあります。お餅ひとつをとっても、丸いものや四角いもの、焼いたものや、餡を入れたものなど、さまざまですね。

もちろん食文化のみならず、準備や過ごし方も多様です。文閣にしめ縄を張ってお正月を迎えるお宅もあれば、年始にお参りへ行くお宅もあります。

日本の民俗宗教の視点から見れば、お正月に歳神を迎える信仰が幅広く根をおろしていると言えるでしょう。歳神は、田の神であり、豊穣の神であり、祖霊であり、家の神であり、といった習合的性格をもった神様です。神道の文脈で言えば、お正月になると日の出とともに各家庭にやってくる来訪神・大年神(オオトシノカミ)の信仰だと言えます。陰陽道では、娑婆羅王(シヤカラリウオウ)の娘・頗梨采女(ハリサイジヨ)が毎年元旦に来訪する神霊だとされています。

そもそもトシという日本語の語源は穀物(稲)またはその実りを意味するようです。だから「稔」という字には「し」「みのる」という訓をあてたわけです。稲の実りのサイクルを一年とすることから、トシは年・歳として一年を表す語になったと考えられます。

民俗や習俗の営みは、宗教研究者にとって、とても興味深いものです。また様式を大切に守っている人は尊いと思います。

一方、お正月の仏教行事といえば、修正会になります。仏教民俗学者の五来重氏によれば、前年の収穫を感謝する修正会と、農耕のための予祝行事として行われる修二会は、本来一体の行事であり、民俗が仏教化した正月行事だそうです。

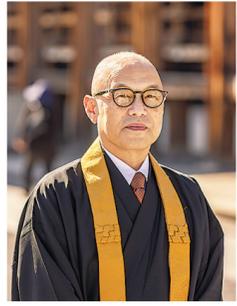
新年には多くの浄土真宗の

新年の法要

お正月の仏教行事といえば、修正会になります。仏教民俗学者の五来重氏によれば、前年の収穫を感謝する修正会と、農耕のための予祝行事として行われる修二会は、本来一体の行事であり、民俗が仏教化した正月行事だそうです。

新年には多くの浄土真宗の

お念仏で新年の幕開けを



釈 徹宗
1961年生まれ。宗教学者。相愛大学学長。大阪府池田市・如来寺住職。

お内仏のお供え

浄土真宗はあまたある民俗・習俗・伝統・伝承をうまく活用したり、意味を変換したり、あの手この手で取り換えてきました。これは真宗門徒の実におもしろいところでしょう。すなわち、生活全般において、真宗門徒のスタイルをつくってきたのです。お盆やお正月の習俗も自家・家系の中のものにしてきました。まさに世俗の中を歩む仏道である真宗の特性だと言えます。ですから、地域の習俗や伝統を簡単に捨ててしまわず、

お寺で元旦会が勤められています。ぜひお正月は、お寺の元旦会へご参拝ください。

また、西本願寺では1月9日から16日にかけて、御正忌報恩講が勤修されます。親鸞聖人のご命日(11月28日)を現在の暦に当てはめた結果、この時期でのおとごめとなつたわけです。

ご縁があれば、新年を迎えたフレッシュな気分の中、御正忌報恩講へお参りしてください。

同じく、真宗門徒のお正月の行為様式も、各地に息づいていることでしょう。拙宅の場合は、元旦会を勤めたり、お内仏のお供えのお餅を雑煮にして食べたりします。同様の習慣をもつ門徒のお宅もあると思います。もし「うちには、こんな真宗的なお正月の様子があった…」などといった情報があれば教えてください。ぜひそれをこれから大切にしてください。

そしてなにより、まず私たちはお念仏で新年の幕開けを迎えましょう。なんといっても、これですよね。

法語とともに1年を(2・3面)

謹賀新年

令和六年元旦

寺院災害保険
あんしん収入補償保険
寺院活動行事保険
保育連盟加盟園向け災害保険

0120-37-0243

浄土真宗本願寺派提携代理店
<http://www.purani-hongwanjihahoken.com>

2024(令和6年)2月1日始期

医療補償(基本プラン)

新規加入は79歳まで、継続加入は89歳まで拡大されました!

がんを含む幅広い病気やケガによる入院と手術を補償!
1口あたり日額5,000円(入院1日目より補償)!

加入年齢	払込方法	
	型	月払
0~59歳	TO	13,120円
0~59歳	AO	12,000円
60~64歳		20,100円
65~69歳	BO	28,390円
70~74歳		40,860円
75~79歳		55,590円
80~84歳(継続のみ)	BO	84,640円
85~89歳(継続のみ)		122,600円

新規加入受付開始

介護補償(特約)

左記、医療補償(基本プラン)に追加でご加入いただけます!

加入年齢	(一時金)100万円		(一時金)200万円		(一時金)300万円	
	型	月払	型	月払	型	月払
0~39歳		70円		140円		210円
40~44歳		170円		340円		500円
45~49歳		420円		840円		1,250円
50~54歳		840円		1,670円		2,500円
55~59歳		1,750円		3,500円		5,250円
60~64歳	U	3,500円	V	7,000円	X	10,490円
65~69歳		6,000円		11,990円		17,980円
70~74歳		12,740円		25,470円		38,210円
75~79歳		26,720円		53,440円		80,160円
80~84歳(継続のみ)		53,770円		107,540円		161,300円
85~89歳(継続のみ)		100,380円		200,760円		301,130円

介護一時金支払特約

要介護2以上の認定、または保険会社所定の要介護状態が90日を超え継続した場合、一時金で100~300万円を補償します。